

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 16 日

札幌市立 厚別北中学校

1 今年度の重点目標

- ・本校の特色を生かした教育課程の編成・実践・評価・改善の充実
- ・自ら意欲を高め、主体的に取り組む学習指導の充実
- ・特別な配慮を必要とする生徒への教育の充実
- ・保護者・地域社会に信頼される学校を目指した相互理解と協力の推進
- ・「働き方改革」の推進

- ・主体的に考え行動する生徒を育てる学級・学年経営と生徒会活動の充実
- ・生徒と教師の信頼関係を大切にした生徒指導・生徒支援の充実
- ・校内研修への意欲的な取組と自らの資質を高める研究・研修の充実
- ・学校環境の効果的な整備と有効利用の工夫

2 本年度の経営方針

- ・創意ある教育課程の編成と実践・評価・改善に努める教育の推進
- ・心豊かな人間性を培う教育の推進
- ・地域社会に根差した、開かれた教育の推進

- ・生徒一人一人の個性と資質・能力を高める教育の推進
- ・たゆまぬ研修による専門性の向上と組織的教育機能が発揮される教育の推進

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	自ら学ぶ姿勢と創造性あふれる知性を培う	本校で行われている教育活動は、生徒の将来の生活につながるものとなっている	A	学校教育目標は、すべての生徒の個性の伸長を促し、将来にわたり必要とされる資質・能力を身に付けていくための教師の指針であることを共通理解し、生徒の心を揺さぶる声掛けを意識するとともに、地域や保護者の理解と信頼を得ながら、教育課程の編成と実践に努める。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		昨今、生徒のやるべきことが増え、余裕ある生活を送ることがなかなか難しい現状にある。そんな中で、規則正しい生活の習慣化が困難になる場合もあると思われる。本校の伝統である「TP0を考えて行動する」生徒の育成に向けて、是非とも生徒の心を揺さぶる声掛けを意識していただきたい。その声掛けの積み重ねに期待したい。				

人間尊重の教育	生徒一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり	生徒一人一人を大切にしたい教育活動が行われている	A	子どもが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する相互承認の態度を高め、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となっていく教育を推進する。	A	A
「学ぶ力」の育成	生徒主体で追究する学習課題や授業展開の工夫と問題解決能力の育成	自分なりの疑問や課題をもって学習に取り組もうとしている	A	「学校評価アンケート」における「ICTを活用した学習活動」に関する項目や総合的な学習の時間の取組に対する肯定的な回答が高い割合を示しており、それぞれが充実した学習活動となっていると言えるため、今後も更に研修を進め、「学ぶ力」の育成に努めていく。	A	A
「豊かな心」の育成	生徒と教師の信頼関係を大切にした生徒理解と支援の充実	生徒理解のための相談活動が適切に行われている	A	日々心身の状況を記録する「シャボテン」や毎学期の「教育相談アンケート」等をもとに、一人一人の生徒と学級担任による教育相談活動を展開した。SCや相談支援パートナー、関係機関との連携を更に強化するとともに、校内支援センターの増設も含め、生徒支援体制の充実を図る。	A	A
「健やかな体」の育成	体力の向上及び心身の健康の保持増進に関する支援の充実	規則正しい生活習慣が身に付くような指導と、体力や運動能力が高まる取組が行われている	A	運動能力の向上及び健康の保持増進を図る取組を行ってきた。生徒自身が睡眠や食習慣などを見直し、規則正しい生活習慣を身につけられるよう、家庭との連携の更なる強化を図る。	A	A
いじめ対策	自他を尊重する態度の育成といじめに対する組織的な対応の充実	いじめ防止基本方針を全職員が理解し、未然防止・早期発見・対応に向けて、いじめ防止対策委員会を中心に迅速かつ組織的に取り組んでいる	A	日々心身の状況を記録する「シャボテン」や教育相談活動、SSTを含めたTP0道徳等を通して、いじめの未然防止、早期発見に努めていく。また、これまで同様、いじめ防止対策委員会を中心に、より迅速な組織的対応を行う。	A	A
一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)	9年間を通した学びのつながりと子ども理解・生徒指導の連続性、及び、教職員の連携・協働	義務教育段階における「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実	A	パートナー校で、目指す子ども像や目標を家庭や地域と共有して取組を推進するために、「小中一貫した教育」グランドデザインを作成した。年度当初に昨年度末に作成したものを更に見直し・改善を行った。今年度CS導入の関係で、グランドデザインの見直しの年となっていることもあり、学校・家庭・地域のつながりの中で、連続性をもって子どもを育むことを念頭にグランドデザインの見直し・改善も含め、今後も取り組んでいく。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		本校の伝統である「TP0を考えて行動する」生徒の育成をぜひ推進していただきたい。そのために様々な活動が行われているが、どれも生徒の主体性を育てる活動となっているものと考えている。また、校内教育支援センター増設に伴い、生徒のメンタルヘルスクアを充実させてほしい。さらに、生徒の社会性や可能性を伸ばすという意味でも、是非生徒の主体性向上と学校としての組織的対応を今後も期待したい。				

学校独自に設定する分野	各教科の評価・評定は適切であり、学習意欲の向上につながっている	A	学校教育説明会や配付文書を通して学習における評価・評定について説明を行ってきた。「学校評価アンケート」の「評価・評定」の項目に対する生徒・保護者の肯定的な割合は上昇しているが、教職員は下降している。今後も「評価・評定」の妥当性の検証も含め、信頼性を高められるように研修を重ねていく。	A	A	
	自ら判断し、行動できる生徒の育成を目指した生徒指導に力を入れている	A	本校で大切にしている「TPO」の理念を今後も継承する。日常から集団生活の向上と生徒の自主性・主体性を育むとともに、非常時にも的確な行動が取れたり、学校生活でのピアサポートなどにつながったりする「積極的なTPO」の力を育てる取組を推進する。	A	A	
	行事、生徒会活動等が活発であり、生徒が積極的に活動できる環境が整っている	A	本校の文化的行事「厚北文化芸術祭」に更に創意工夫を加えて進化・発展させていくことで、活動に取り組む生徒の満足感を高めたい。生徒が主体的に考え、温かい人間関係を構築することのできる生徒活動を引き続き重視していく。更に「笑顔で挨拶(厚北スマイル)」が広がるよう努める。	A	A	
	地域や保護者の意見が学校運営に反映されている	A	今後のCSを念頭に置き、地域や保護者の方が直接学校生活の様子を見ることが出来る機会を徐々に増やしていくようにする。授業参観や学校行事を積極的に公開する態勢を更に整えていく。	A	A	
学校関係者評価委員会による意見		厚北文化芸術祭や合唱交流会等の行事への取組が素晴らしかった。来年度も更に良い取組となることを期待したい。本校の伝統である「TPO」については生徒たちに考えさせる時間をこれからも大切に、先生方には、生徒の心を揺さぶる声掛けを実践してもらいたい。				